新たな桃太郎像とパチリ！



新たに登場した桃太郎像（中央）と、商品化したお面を着けた山陽学園大の学生

県観光連盟と山陽学園大生連携企画 岡山・表町商店街に登場

新たな桃太郎像が9日、岡山市北区表町の表町商店街に登場した。岡山県観光連盟と山陽学園大（同市中区平井）が観光の魅力アップや情報発信に連携して取り組むプロジェクトの一環で、観光客や買い物客らにフォトスポットとして楽しんでもらおうと制作した。

像は左手をかざして遠くを望むポーズで、JR岡山駅前や岡山桃太郎空港にある像と同じデザインにした。固まる樹脂でコーティングした発泡スチロール製の高さ130センチで青緑色。台座の上にりりしく立っている。

連盟が運営する県特産品ショップ「晴れの国おかやま館」前に定休日の火曜を除く午前10時～午後6時に置く。撮影時に使ってもらおうと同大地域マネジメント学部2年4人の発案で商品化した桃太郎のお供の犬、猿、キジと鬼のお面の販売も始めた。学生メンバー平田凛太郎さん(19)は「桃太郎の仲間になりきっていろんな写真を撮って発信してほしい」と話す。

この日、除幕式を行って初披露。記念して11日まで各日先着100人にきび団子をプレゼントする。連盟と学生は7月、県産白桃のジュースが出る桃形オブジェの蛇口「ももじゃ」を期間限定（9月まで）で設置した。像は第2弾の企画となる。（稲田愛子）

©山陽新聞社　無断複製転載を禁じます。